

## WebFOCUS 初級コース ～研修受講後のスキルアップサポート～

対応バージョン:WebFOCUS 8.0.01

本資料は、アシスト WebFOCUS 研修をご受講いただいたお客様からのご質問や、研修ではご案内できなかった情報などを FAQ にまとめたものです。研修受講後のスキルアップの一助として、是非お役立て下さい。

※ご利用上の注意事項は最後のページにまとめられております。ご確認のうえ、ご利用下さい。

第1章 概要	
1	<p>Q. プロシジャをテキストエディタで開くと、コマンドが格納されていますが、このコマンドは WebFOCUS 独自のコマンドなのでしょうか。</p> <p>A. プロシジャ中のコマンドは WebFOCUS 独自のコマンドです。 詳細は WebFOCUS 上級コースで取り扱っています。</p>
2	<p>Q. WebFOCUS Developer Studio が WebFOCUS サーバに正常に接続できているかどうか確認できますか。</p> <p>A. WebFOCUS Developer Studio のエクスプローラ画面で、[ファイル] から [環境の表示] を選択し、[環境リスト] を表示させます。 使用したいサーバのステータスが「Online」であれば正常に接続できています。</p>
3	<p>Q. プロジェクトの作成後、Windows のエクスプローラなどからプロジェクトの対象ディレクトリを確認すると「プロジェクト名.GFA」というファイルが作成されていますが、このファイルは何ですか。</p> <p>A. 「プロジェクト名.GFA」ファイルは、プロジェクトの定義ファイルで、プロシジャやマスターファイルなど、プロジェクト中のファイル情報を保持しています。</p>
4	<p>Q. プロジェクト（もしくはプロジェクト内の各フォルダ）を右クリックし、[新規作成]の[仮想フォルダ]を選択すると仮想フォルダを作成できますが、この仮想フォルダとは何ですか。</p> <p>A. ファイルタイプの指定によって、ファイルを分かりやすく管理する仮想のフォルダです。 プロジェクトを作成すると、[プロシジャ]や[マスターファイル]などのフォルダが自動的に作成されますが、これらも仮想フォルダです。 例えば、[プロシジャ]フォルダは、拡張子「.fex」のファイルが格納されるように設定されています。</p>
5	<p>Q. シノニムが増えると WebFOCUS の処理スピードは下がりますか。</p> <p>A. シノニムは単なる定義ファイルですので、シノニムが増えても WebFOCUS の処理スピードには影響ありません。ただし、OS 上にマスターファイルとアクセスファイルが作成されるため、ディスク領域を数キロバイト程度使用します。</p>
6	<p>Q. データベース側の定義変更を簡単にマスターファイルに反映させる方法がありますか。</p> <p>A. プロジェクト内に存在するマスターファイルフォルダを右クリックして、メニューから[シノニムのリフレッシュ]を選択することで、データベース側の変更を読み込むことができます。 この時、シノニムに手動で変更した部分（DEFINE など）は設定が保持されます。</p>
7	<p>Q. 既存のシノニムと同名のシノニムを作成するとどうなりますか。</p> <p>A. 同名のシノニムが既に存在している場合は、シノニムを作成できません。 ただし、シノニムの作成ステップ2/2の上部にあるラジオボタンで「既存のシノニムを上書きする」を選択すると、上書きで作成する事が可能です。</p>
8	<p>Q. シノニムを作成する際、任意の名前で作成できますか。</p> <p>A. シノニムの作成ステップ2/2画面で、作成するテーブルにチェックを入れます。 チェックを入れた状態で、デフォルトシノニム名の部分をダブルクリックすると作成するシノニムに任意の名前を設定できます。</p>

第1章 概要	
9	<p>Q. Web コンソールのアプリケーションパスの構成欄には、特に設定しなくても baseapp フォルダが表示されますが、これは何でしょうか？</p> <p>A. baseapp フォルダは、WebFOCUS インストール時に自動的にアプリケーションパスに設定されるフォルダです。          なお、Developer Studio では、新規にプロジェクトを作成した場合、デフォルトで、baseapp が検索パスの一番最後に追加されます。          そのため、baseapp というプロジェクトを作成しなくても、ドライブ名:¥ibi¥apps¥baseapp に HTML やマスターファイル等を保存して頂きますと、他のプロジェクトから参照できるようになっています。</p>

第2章 レポート作成の必須機能	
1	<p>Q. タイトルやデータの右詰め、左詰めなどを設定することはできますか。</p> <p>A. 設定したい項目の [フィールドのプロパティ] ウィンドウの [スタイル] タブを開き、[配置] を設定して下さい。          デフォルトでは項目のフォーマットが数値タイプであれば右詰め、文字タイプであれば左詰めになります。</p>
2	<p>Q. フォーマットで指定したよりも、実際のデータの桁数が多かった場合どうなりますか。</p> <p>A. 数値タイプの場合は「*」などの桁あふれを表わす記号が表示され、文字タイプの場合はフォーマットで指定された桁数までのデータのみを先頭から表示します。          エラーは発生しませんが、正しくデータが表示されないため、桁数を調整して下さい。</p>
3	<p>Q. レポート中のデータが存在しない場合「.(ピリオド)」が表示されますが、この表示を変更できますか。</p> <p>A. データが存在しない部分には、デフォルトで「.」が表示されます。          この表示を変更したい場合は、TABLEリクエストの前に「SET NODATA='文字列'」と指定して下さい。</p>
4	<p>Q. BY と ACROSS では、データベース中に存在する値を並び替えて表示しますが、データベース中に無い値を表示させることはできますか。例えば日付の項目でデータベース中には存在しない月があるが、1月～12月まで必ずレポート上に表示したい場合など。</p> <p>A. 項目を右クリックして、2つある内の下の [ソート順(Q)] を選択します。[ソート順ビルダ] ウィンドウが表示されますので、表示させたい項目を左枠の「値」に追加して下さい。          既存の項目以外は手入力での追加が可能です。</p>
5	<p>Q. ACROSS を指定したレポートで、SUM 項目が1つしかない場合、SUM 項目のタイトルが表示されません。これを表示することはできますか。</p> <p>A. SUM 項目のフォーマットを変更することで、タイトルを表示できます。</p>
6	<p>Q. BY 項目は重複する値が自動的に非表示になりますが、これを表示することはできますか。</p> <p>A. [レポートオプション] ウィンドウの [出力] タブの [データ] の選択項目の中から [すべてのソート値を表示] にチェックを入れて下さい。</p>
7	<p>Q. SUM 項目、PRINT 項目無しでレポートを作成することはできますか。</p> <p>A. 基本的に、SUM 項目や PRINT 項目無しでレポートを作成することはできませんので、SUM や PRINT は必ず指定して下さい。例えば、並び替えの項目だけを表示したい場合には、任意の項目を SUM に指定し、その項目を非表示にして下さい。</p>
8	<p>Q. 編集オプションの「M」を使用すると、デフォルトの通貨記号(¥)を表示することができますが、ドル記号(\$)やユーロ記号(€)などを表示することはできますか？</p> <p>A. 編集オプションから、ドル記号やユーロ記号を設定できます。編集オプション一覧には、「M」と同様に、ドル記号とユーロ記号を表示させる選択肢がございますので、選択してご指定下さい。          例えば、データ値にドル記号を付加させる場合は、編集オプションから、「ドル記号(浮動)---!D」を指定します。</p>

第2章 レポート作成の必須機能	
9	Q. プロシジャをテキストから編集する際、テキストエディタではなく、レポートペインタの [ソース] タブで、直接編集することはできますか。
	A. 選択条件やBY項目の追加など、レポートペインタ内でGUIから設定できるものに関しては直接コマンドを編集できます。 レポートペインタ内で設定できないもの (DEFINEやSET) に関しては、[ソース]タブからは指定できません。
10	Q. レポートの途中にタイトルが再度表示されますが、タイトルを一行目のみに表示させることはできますか。
	A. デフォルトでは一定行数ごとにタイトルが表示されます。 一行目のみに表示したい場合は以下のコマンドをプロシジャの先頭に追加して下さい。 SET LINES=999
11	Q. SQLを確認する方法を教えてください。
	A. レポートペインタのメニューバーから、「表示」を選択して、「生成されたSQLを表示」を選択するとSQLを確認できます。 また、手入力でSQLを確認することも可能です。 プロシジャビューアの左下にあるタブからテキスト表示を選択して頂き、コマンドの先頭に以下のコマンドをご入力下さい。 結果のレポートでHTMLのソースを表示すると、ソースの下部にWebFOCUSが発行したSQL文が出力されます。  SET TRACEOFF = ALL SET TRACEON = STMTRACE//CLIENT SET TRACEUSER = ON なお、上記のコマンドの詳細は、WebFOCUS中級コース2章の章末付録に記述がございます。

第3章 計算式の作成	
1	Q. 一時項目を作成する際、現在の日付を元に演算を行うことはできますか。
	A. システム変数の&YYMDで現在の日付を取得することができます。 演算式に「&YYMD」と指定すると、現在の日付を8桁の整数で取得します。 日付演算についての詳細は、WebFOCUS上級コースでご紹介しております。
2	Q. 金額など数値の桁が多い場合、千円単位など、下何桁かを省略して表示する編集オプションはありますか？
	A. 編集オプションには、下何桁かを省略して表示するオプションがございません。 そのため、下何桁かを省略して表示したい場合は、一時項目を使用します。 以下、千円単位で売上金額を表示させる一時項目の演算式です。 売上金額(千円)/D16 = 売上金額 / 1000;

第4章 レポートの詳細設定	
1	Q. レポート見出し中に実行日の日付を入れる事はできますか。
	A. システム変数の&DATEYYMDを使用します。見出し中に「&DATEYYMD」と記述して下さい。
2	Q. レポートの罫線の太さや色を変更する事はできますか。
	A. 出力形式がPDFであれば、罫線の太さを2種類の中から選択することができます。出力形式がHTMLの場合に、罫線の色や太さを変更することはできませんので、境界の機能を使用して下さい。境界であれば、HTMLで出力する場合にも太さや色を変更することができます。
3	Q. レポートの表示位置(余白)を変更する事はできますか。
	A. HTML形式とPDF形式であれば、変更可能です。指定する場合は、[レポートオプション]ウィンドウの[フォーマット]タブから、[ページマージン]を設定して下さい。
4	Q. 列合計や行合計のタイトルは「TOTAL」などと表示されますが、このタイトルを変更できますか。
	A. 列合計や行合計を右クリックして、[カラム タイトル] や [タイトル] から変更して下さい。

第5章 ドリルダウンレポート	
1	Q. ドリルダウン先のレポートは通常、ドリルダウン元と同じウィンドウに表示されますが、新しいウィンドウに表示することはできますか。
	A. ドリルダウンの設定ウィンドウにて、[ターゲットフレーム]で「_blank」を選択して下さい。
2	Q. テキストの例題と逆の手順で、ドリルダウン元、ドリルダウン先の順でも作成できますか。また、作成時に注意すべきことはありますか。
	A. ドリルダウン元、ドリルダウン先の順でも作成できます。ただし、以下で指定するプロシジャ名と変数名は手入力になりますので、ドリルダウン先のプロシジャ名と変数名を正しく指定して下さい。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [フィールドのプロパティ] ウィンドウの [ドリルダウン] タブの [プロシジャ名]</li> <li>・ [ドリルダウンパラメータ] ウィンドウの [パラメータ名]</li> </ul>
3	Q. [ドリルダウンパラメータ] ウィンドウの [パラメータ値] の「定数値」はどのように使用しますか。
	A. 「定数値」を選択すると、固定の値をドリルダウン先に受け渡します。WebFOCUS 初級コースのテキストでは、付録PA-13『A.3 ドリルダウンのサンプル』で、マルチドリルダウンで出力形式を選択させるレポートの作成に使用しています。

**※ ご利用上の注意事項※**

- ・ 本書の著作権は株式会社アシストに帰属します。
- ・ 本書は参考資料であり、掲載されている情報は予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本書で使用している製品の名称は、各社の商標または登録商標です。
- ・ 本資料の内容に関するご質問はご遠慮ください。
- ・ 本資料はおお客様の責任のもとでご利用ください。これらの使用によりいかなる損害が生じたとしても、株式会社アシストは一切保証致しかねますので、ご了承ください。